

ニーズ調査報告と分析

——国際部教科書作成を前提に——

岡野喜美子

長田紀子

シュック陽子

はじめに

近年、日本語教育の分野において学習者のニーズの多様化が進み、その多様なニーズに対処するためのコースデザインの研究が行われるようになってきた¹⁾。それにともなってニーズ調査がかなりの機関で実施されているようであるが、調査方法および分析結果の報告は少ない。

早稲田大学国際部では、前年度(1989年9月～1990年6月)一連のニーズ調査を行った。これらのニーズ調査の主目的は、学生の言語行動の実態を把握することにより、国際部におけるコースデザインのためのシラバス、特に新教科書作成の資料とすることである。本稿は、以上のニーズ調査の結果をまとめ分析を試みたものであるが、よりよい調査方法を探るためにも同様の調査を試みられた他機関からのご助言、ご教示を期待し発表することにした。

I. 調査対象学生のプロフィール

調査の対象となった学生はアメリカの協定校からの学生を中心に105名、平均年齢20歳の学部学生である。専攻(副専攻を含む)はアジア研究

1) 参考文献1参照

とビジネスがそれぞれ約 25%, 社会科学 19%, 日本語 16%, 理工系 10% などである。来日時 (9 月) の日本語力はほとんどゼロが 2, 3 名, その他の学生は学習歴が数週間から 4 年, あるいは日本での成育歴, 教育歴のあるものまでさまざまであった。1 学期目 (秋学期) に学生は J2 (初級初期), J3 (初級中期), J4 (初級中期), J5 (初級後期), J5A (初級後期), J6 (中級初期) の 6 レベルに振り分けられた。(以下, J2, J3... とあるのはこのレベルを指している)

留学期間は 10 か月, 毎日 90 分の日本語授業と平行して英語による日本, アジアに関する講義も受講する。この間原則として全員がホームステイをしている。

II. 調査の概要

本稿で取り上げた調査の調査時期, 調査対象者および調査方法などは次のとおりである。

調査 1 (1989 年 11 月実施)	学生対象	アンケート調査 (英語)
調査 2 (1990 年 6 月実施)	学生対象	アンケート調査 (英語)
調査 3 (1989 年 12 月実施)	ホストファミリー対象	アンケート調査
調査 4 (1989 年 12 月実施)	事務職員対象	インタビュー調査
	図書室司書対象	インタビュー調査

国際部では従来, コース開始前に学生対象のレディネス調査を行ってきたが, これはニーズを把握するには不完全なものである。このため, 上記の調査を実施したわけであるが, ニーズは可変性を持つ²⁾という観点から, 学生を対象としてコース開始後と終了直前の 2 回調査を行い, ニーズ領域の把握と同時に変化にも注目した。具体的には場面, 機能, トピックの 3 つの面からの調査を試みた。さらに, 学習者側からのニーズだけでなく受け入れ日本人側の調査も必要である³⁾と考え, 調査 3 と調査 4 を行った。

2) 参考文献 2 参照

3) 参考文献 1 参照

III. 学生対象の調査—結果と分析—

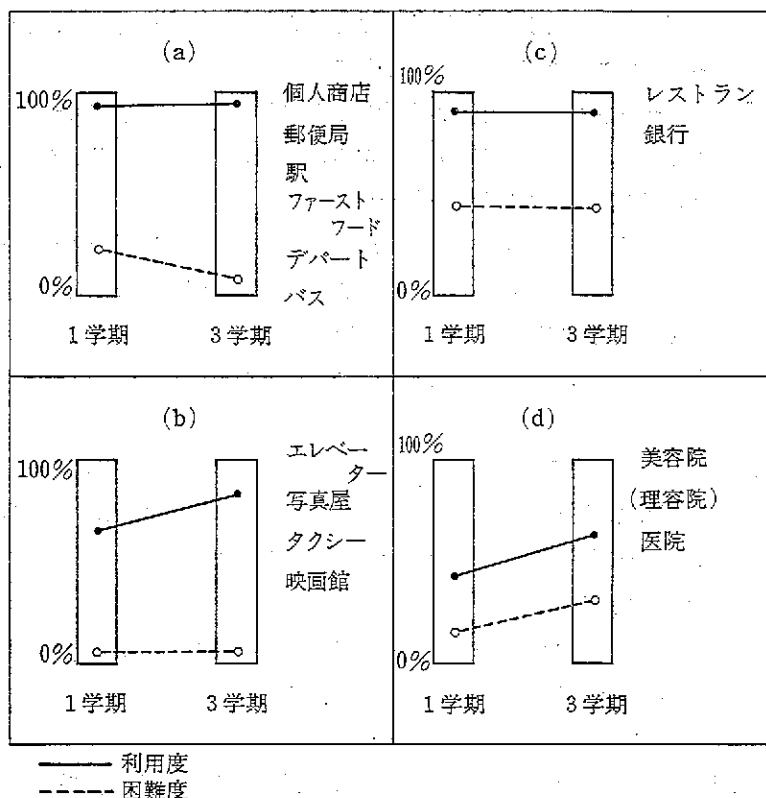
ここでは調査1(1学期), 調査2(3学期)の結果に基づき, 場面, 機能, トピックのそれぞれにかかわるニーズについて, 報告と分析を試みた。

1. 場面にかかわるニーズ

A. 利用した場所とそこでの困難度

学生が利用したと思われる17の場所を取り上げ, 利用度及び困難度(利用したとき言語上の困難があるか/あったか)を調べた。下図は, 1学期から3学期にかけての利用度と困難度の変化を, 4つのパターンに分類した

図 1



ものである。

- ① パターン (a) は、利用度が1学期、3学期ともに高いが、困難度は1学期から比較的低く、3学期はさらに低くなる。個人商店、郵便局、駅、デパート、バスといった場所は、「～を下さい」などの単純な表現の使用で必要が満たされることが多いこと、日常的に繰り返し利用することなどによると思われる。
- ② パターン (b) は、利用度が1学期から3学期にかけて高くなるが、困難度は一貫して低い。
- ③ パターン (c) は、利用度が (a) と同様1学期、3学期ともに高いが、困難度も一貫して高い。銀行、レストランといった場所は語彙や表現が難しく、文字の問題もあること、日常的にそれほど繰り返し利用しないことなどによると思われる。
- ④ パターン (d) は、利用度が (b) と同様1学期から3学期にかけて高くなり、困難度も高くなる。美容院や医院といった場所には、(c) と共通の問題があるためと思われる。
- ⑤ 4つのパターンに当てはまらないものに旅行社、不動産屋があった。旅行社は1学期から3学期にかけて利用度が高くなったが、困難度は一貫して高かった。また不動産屋は1学期、3学期ともに利用度が非常に低かった。これは、ほとんどの学生がホームステイをしているためである。
- ⑥ レベル別に見ると、J2 と J3 のクラスでは1学期より3学期のほうが困難度が高くなる傾向が見られた。これは学習が進むにつれて新しいニーズが生まれてきたことの一つの例である。

B タスクの達成

上記 A の場所について34の項目（以下タスクと呼ぶ）を取り上げ、調査1、調査2でそれぞれ下記のような調査を行った。

(1) タスクの達成にかかわるニーズ

調査1では、それぞれのタスクについて、国際部の学生が日本で暮らす

うえで必要だと思うものを選ばせた。表1は、どのようなタスクへのニーズが高かったか低かったかを示したものである。

表 1

1 位	駅でプラットフォームや電車について尋ねる
2 位	電車の路線図や運賃表を読む
3 位	銀行で口座を開くために銀行員と話す
4 位	レストランで注文する
5 位	美容院(理容院)で希望のヘアスタイルなどを説明する
⋮	
30 位	レストランで何かを頼んだり文句を言ったりする
31 位	レストランでテーブルを頼む
32 位	ワンマンカーの運転手に料金の払い方を尋ねる
33 位	旅行案内パンフレットを読む
34 位	個人商店やデパートで配達を頼む

(2) 困難の解消

調査2では、困難の解消について (a) いまだにできない項目——困難が解消されていないもの—— (b) 1学期にはできなかったが、3学期にはできるようになった項目——困難が解消されたもの—— (c) 最初からできた項目——困難のないもの—— の3つに分けて調べた。表2は、(a)、(b)、(c) それぞれの上位5つを示したものである。

- (a) 困難が解消されなかったタスクは銀行の場面に多く、2位、4位、5位を占めている。この結果は、1-Aの結果とも一致している。

(1-A-③ 参照)

なお、6位に「レストランで何かを頼んだり文句を言ったりする」、7位に「レストランでメニューを読む」が入っており、これも1-Aの結果と一致する。

- (b) 困難が解消されたタスクは、駅やバスの場面に多く、1位から5位までを占めている。(1-A-① 参照)

- (c) 困難のないタスクには「質問と答え」という簡単なやり取りで済む

表 2

(a)	1 位	旅行案内パンフレットを読む
	2 位	銀行で手続きのためにフォームに記入する
	3 位	美容院(理容院)で希望のヘアスタイルなどを説明する
	4 位	銀行でキャッシングマシンの指示を読む
	5 位	銀行で口座を開くために銀行員と話す
(b)	1 位	駅で路線図や運賃表を読む
	2 位	駅でアナウンスを理解する
	3 位	駅で券売機や他のサインを読む
	4 位	バスの中のアナウンスを理解する
	5 位	バス停の標識を読む
(c)	1 位	レストランで席を頼む
	2 位	デパートで売り場を聞く
	3 位	レストランで代金を払い、勘定が正しいかどうかを確かめる
	4 位	デパートで試着する
	5 位	駅でプラットフォームや電車について聞く

ものが多い。このようなタスクの場合は、一度表現を学習すれば困難はなくなると言えよう。

2. 機能にかかわるニーズ

A ニーズのある機能項目

ここでは、学生がホームステイ先で使うと思われる機能に関する項目を選び、学生にとって必要なものが何であるかを調べた。調査1では国際部の学生として必要だと思うものを14項目の中からすべて選ばせたが、調査2では「自分にとって必要だと思う項目を5つ以内選べ」という聞き方にかえた。この変更はどの項目がニーズが高いかをしぼりこむために有効であると考えたためである。調査2では調査1の項目のほかに honorific language (以下「丁寧な言い方」とする) と familiar speech (以下「くだけた言い方」とする) について詳しくみるために数項目⁴⁾を増やした。

4) 参考文献4, 13 参照

表 1 (調査 1)

1 位	くだけた言い方で話す
2 位	許可を得る
3 位	手伝いを申し出る
4 位	使い方を尋ねる
5 位	依頼する / 誘いを受ける / 断わる
⋮	⋮
11 位	体の不調を告げる / 意見を述べる
12 位	人を誘う
13 位	丁寧な言い方を理解する
14 位	丁寧な言い方で話す

表 2 (調査 2)

1 位	人に道順を聞き、またそれを理解する
2 位	家庭外で丁寧な言い方で話す
3 位	電話をかける
4 位	家庭で丁寧な言い方で話す
5 位	日本語で面接を受ける / 電話で伝言をのこす

調査 1 と調査 2 では調査内容が少し異なるために単純な比較はできないが、上の表 1 と表 2 から、次のことが言えよう。

- ① 調査 1 では最もニーズが高かったのが「くだけた言い方で話す」で、最もニーズが低かったのは「丁寧な言い方を理解する」、ついで「丁寧な言い方で話す」であった。「くだけた言い方」へのニーズと「丁寧な言い方」へのニーズが両極端な表われ方をした。
- ② 調査 2 では調査 1 の結果とは逆に「丁寧な言い方」へのニーズが高かった (2 位, 4 位)。さらに、1, 3, 5 位の項目もいわゆる「敬語」が必要なものと考えれば、敬語へのニーズが非常に高いと言えよう。
- ③ レベル別にみると、レベルが高くなるにつれて「敬語」へのニーズが高くなる傾向にある。例えば、J2, J3 では上位 5 つのなかに「敬

語」に関するものは「日本語で面接を受ける」しか入っていない。ところが、J4 より上のレベルでは、上位5つのほとんどが「敬語」に関するものであった。また、同じレベルでも、調査1より調査2のほうが、「敬語」へのニーズが高かった。つまり、学習がすすむにつれて「敬語」へのニーズが高まると言えよう。

- ④ 調査1では上位に入らなかった「人に道順を開き、またそれを理解する」(6位)が、調査2では1位になった。
- ⑤ 調査1では2, 3, 4, 5位は「許可を得る」「手伝いを申し出る」などのように単純なやりとりでできる項目が上位を占めたのに対して、調査2では1位から5位の項目のなかから単純なやりとりのものがすべてなくなっている。これは一文発話的な機能から対人的、談話的な機能⁵⁾へとニーズが移行してきたことを表わしているのではないか。

B 困難の解消

調査2では困難の解消について1—B—(2)と同様、(a)困難が解消されていないもの、(b)困難が解消されたもの、(c)困難のないもの、の3つに分けて調べた。表3は(a), (b), (c)それぞれの上位5つを示したものである。

- (a)-① 困難が解消されなかった項目は1位から4位まですべて「丁寧な言い方」に関するものである。
- ② 困難が解消されなかった項目の5位は、「電話で相手の伝言を聞く」であった。これは電話での聞き取りが、物理的にふつうの聞き取りよりも難しいと同時に「丁寧な言い方」で情報を得なくてはいけないためであろう。
- (b) 困難が解消された項目の上位2, 3位は「くだけた言い方」であった。一般に困難が解消される理由は大きく分けて2つ考えられる。日本という言語環境にることにより経験的、自然的

5) 参考文献3参照

表 3

(a)	1 位	日本語で面接を受ける
	2 位	家庭外で丁寧な言い方で話す
	3 位	家庭で丁寧な言い方で話す
	4 位	家庭外での丁寧な言い方を理解する
	5 位	電話で伝言を聞く
(b)	1 位	電話をかける
	2 位	家庭でくだけた言い方で話す
	3 位	家庭でのくだけた言い方を理解する / 人に道順を聞き、またそれを理解する
	4 位	使い方を尋ねる / 相談する
	5 位	電話で伝言をのこす
(c)	1 位	人を誘う
	2 位	誘いを受ける / 断る
	3 位	依頼する
	4 位	依頼を受ける / 断る
	5 位	タクシートの運転手に道順を告げる / 体の不調を言う

に困難が解消されていく場合と教室で学習することにより解消されていく場合である。「くだけた言い方」に関して言えば、「教室で学習した」というよりは学校生活および家庭生活のなかで経験的に学習したと考えられる。

- (c) 困難のない項目はやはり単純なやりとりだけのものが多い。つまり、あるひとつの文型を覚えれば意志伝達ができるものである。これらの項目は一度教室で学習すれば、比較的容易に困難が解消されるのであろう。

3. トピックにかかわるニーズ

調査2では学生が関心をもちそうな36のトピックについて「日本語クラスで取り上げてほしいものはどれか」という聞き方でニーズを調べた。表4は上位14項目(50%以上の学生が関心をもつとした項目)である。

一方、関心の最も低かったものは科学(14%)で、あと福祉、演劇、工

表 4

1 位	日本の生活と習慣 / 日本語表現の意味と用法
2 位	社会問題
3 位	大学生活
4 位	歴史
5 位	日本人の家族関係
6 位	旅行
7 位	日常の活動・行動 / 女性の地位
8 位	日米関係
9 位	テレビ番組 / 食べ物
10 位	政治問題
11 位	宗教

業などが低かった。ビジネス、経済は 50% に近かった。

全般に学生の専攻に関するものより、日本の生活、習慣、文化的背景となるものに関心が強いが、これは日本語で講義を受講しないこと、ホームステイをしていることと無関係ではないと思われる。

IV. 日本人対象の調査

II で述べたように、われわれは学生の対話相手である日本人に対する調査も次の場面で行った。

1. 事務所、図書室

事務職員、図書室司書に対するインタビュー調査では、それぞれの場で、(a) よく問い合わせたり依頼してくる事柄、(b) 職員が必要と思う表現、(c) 頻度の高い表現上の問題(誤用など)について聞いた。結果は次のとおりである。

A 事務所の場合

- a) 科目登録 単位数 クラブ 学割の申請 証明書の申請 タイプライターなどの貸し出し依頼 郵便配達時間 ビザ延長と再入国手続き

- b) ~タインデスケド、ドウシタライイデスカ

- c) 貸シテモイデスカ(貸ス, 借リルの誤用) スミ マセンデスカ
敬語 オ～の誤用 単語だけ言う 帰国が近づくとも英語が多くな
る

B 図書室の場合

- a) 日米の分類法の違い 他大学の図書館利用 貸し出し期間 罰金
制度 福祉 環境 女性の地位 老人問題 ビジネス 宗教 哲
学(文化, 文学, 歴史への関心は減少)
- b) ～ヲ調バタインデスケド ～トイウ本ハアリマスカ
- c) ～テクダサイのかわりにクダサイを使う(～テが使えない) 単語
だけ言う 英語ができる職員には英語で話しかける 英単語が入
る

2. ホームステイ先

生活をともにする日本人家庭の母親に対する調査3の内容は多岐にわた
っていたが, ここでは「学生の日本語」に関しての回答やコメントのなか
から特徴的なものを2つ取り上げることにする。

A) 「コミュニケーションを円滑にするために学生たちに知っていてほ
しい表現・機能」で上位5位は

- 1位 あとでお礼を言う・謝まる 2位 使い方を聞く 3位 都
合などを聞く 4位 帰宅時間や予定変更などを知らせる 5位
いろいろな挨拶を言う・依頼する

であった。

B) 「丁寧な言い方, くだけた言い方」については, 学生に「丁寧な言
い方を知っていてほしい」とした日本人の母親は回答者数65名のうち29
名(45%), 「くだけた言い方を知っていてほしい」としたのは18名(28%)
であった。これは学生対象の調査1で出た結果(3-A 参照)と対照的な
結果となった。(調査2で調査1より honorific speech に関する質問を多
くしたのはこの違いに着目したためである。また本稿では取り上げなかつ
たが, 7月に行った日本人家族対象のアンケートで学生の話し方の丁寧度

について調査を試みたのも同じ理由からである。これについては別稿で扱いたいと思う。)

V. 今後の課題

以上、国際部の学生のニーズの傾向をみてきた。ここでは、そこから得られた結果をどのような観点から授業や教材に反映させるか、調査方法の問題点は何かなど、今後の研究と実践にかかわる課題について触れる。

今回の調査の主目的である「教材への反映」を考えると、どの時期にどのような形で学生のニーズを満たすのがいいか、が最大のポイントとなる。そのために、タスクや機能項目を分類する必要がある。まず、ニーズが学習の早い時期に現われるものと遅く現われるもの、一文発話的な簡単なものと談話的なもの、さまざまな場面に共通の語彙を使っているものと特定の語彙を使っているもの、対人的要素の強いものと弱いもの、話すこと・聞くことだけが要求されるものと読むこと・書くことが要求されるものなど、調査で得られた結果を分類することから始める必要がある。次に、これら分類した場面や機能を「新教科書」の中に配置するか、あるいは「モジュール教材」⁶⁾として用意していくか、など見極める必要がある。また、道順の例(III—2—Aの表2)などにみるように、シラバス編成に際して、受容言語(receptive language)と発表言語(productive language)という観点も十分考慮に入れなければならないであろう。

次に、「調査方法の問題点」について考えてみたい。はじめて行ったニーズ調査ということもあり、いくつか反省すべき点があった。調査実施の時期と回数は適当であったか、調査方法(アンケート方式)および質問のし方は適切であったか、用語は正しく理解されたか(例えば、honorific language, familiar speech)などである。今後の調査への教訓としたい。

この一連の調査は、新教科書作成のために、すべてのレベルの学生に共

6) 参考文献 5, 7 参照

通のニーズを明らかにする目的で行った。今後は、クラス単位、週単位などのきめ細かな調査および教師に対する調査を実施していくことも考えられよう。なぜならば、ニーズ調査は学生のニーズをもとに何を教えるかを単に特定するためだけのものではなく、学習者、教師双方のニーズの意識化をうながし、学生に対しては学習の動機を高める働きを、教師に対しては授業への内省の機会をもたらすと思われるからである。

参考文献

1. 田中望 1988 『日本語教育の方法——コースデザインの実際——』大修館
2. 岡崎敏雄・長友和彦 1989 「学習者ニーズ論——ニーズ分析をどのように現実的なものとするか——」『言語習得及び異文化適応の理論的・実践的研究(2)』広島大学教育学部日本語教育学科
3. K. ジョンソン・K. モロウ(小笠原八重訳) 1973 『コミュニカティブアプローチと英語教育』桐原書店所収 (Halliday, M.A.K. Explorations in the Function of Language. Edward Arnold)
4. 日本語教育学会 1988 『日本語教育機関におけるコースデザインの方法とコース運営上の教師集団の役割分担に関する調査研究』文化庁日本語教育研究委嘱
5. 岡崎敏雄 1989 「日本語のコースデザイン——柔軟化の原則: コースデザインの全課程における柔軟化——」『言語習得及び異文化適応の理論的・実践的研究(2)』広島大学教育学部日本語教育学科
6. 岡崎敏雄・細田和雄 1989 「教室内活動と教室外活動の言語行動の統合」『同上』
7. 岡崎敏雄・カッケンブッシュ寛子 1989 「日本語多目的教材の創出——学習者の多様化に対応する教材領域での柔軟化——」『同上』
8. 岡崎敏雄 1989 『日本語教育の教材』(NAFL 選書 7) アルク
9. 岡野喜美子 1989 「国際部の初級日本語教育——現状と将来への展望——」『講座日本語』第 24 分冊 早稲田大学日本語研究教育センター
10. Brumfit, C.J.B. and Johnson K. 1979 The Communicative Approach to Language Teaching. Oxford: Oxford University Press
11. Richterich, R. 1983 Case Studies in Identifying Language Needs. Oxford: Pergamon
12. Richterich, R. & Chancerel, J.L. 1977 Identifying the Needs of Adults Learning of Foreign Language. Oxford: Pergamon
13. van Ek, Jan A. 1977 The Threshold Level. In Long, M. & Richards, 1987, Methodology in TESOL: A Book of Readings. New York: Newbury House Publishers
14. 植松清・松本敏雄 「日本語専攻コースの検討と提案」『国際学友会紀要』13 号

Japanese Language Needs Assessment / Follow-up Survey

- I. From the following, please circle the letters of services that you have used since coming to Japan. Also, please check those that you still have troubled using because of the language.

Example: (a) (✓) station b. () bank

- a. () station b. () bank c. () post office
 d. () department store e. () small stores
 f. () restaurant g. () fast food restaurant
 h. () photo shop i. () movie theater j. () travel agency
 k. () hospital, clinic l. () bus m. () taxi
 n. () beauty salon, barber shop o. () realty
 p. () dry cleaner q. () elevator

- II. For each of the following situations, please assign a difficulty score from A~C as follows:

- A) tasks that you still cannot do
 B) tasks that you could not do in the fall semester, but now can
 C) tasks that you had no trouble to begin with

1. At a station

- a. To read the train map and the fare sign
 b. To read the ticketing machine or other signs
 c. To ask about the platforms and trains
 d. To understand announcements
 e. To inquire about things you lost in the train/station
 f. To buy a commuter pass

a	
b	
c	
d	
e	
f	

2. In a restaurant or fast food restaurant

- a. To read the menu
 b. To order food, conversing with the waiter/waitress
 c. To ask for a table
 d. To pay bills and confirm if the bill is correct

a	
b	
c	
d	

- e. To ask about taking food out
- f. To call out for service or complain
- g. To inquire about business hours

e	
f	
g	

3. At a bank

- a. To talk with a bank employee in order to open an account
- b. To talk with a bank employee in order to exchange money
- c. To read the instructions of the cashing machine
- d. To converse with a bank employee in order to cash a check
- e. To read and fill out the form for some procedure
- f. To exchange currency

a	
b	
c	
d	
e	
f	

4. At a store/department store

- a. To ask where a certain counter is (department store)
- b. To read the information guide
- c. To ask for specific product information (size, color, price, function, etc.)
- d. To negotiate the price (In a store such as in Akihabara)
- e. To ask for delivery
- f. To try on clothes

a	
b	
c	
d	
e	
f	

5. At a beauty salon/barber shop

- a. To ask about price and/or waiting time
- b. To explain the desired hair style, etc.
- c. To comprehend what the beautician/barber says

a	
b	
c	

6. Travel preparations

- a. To read travel brochures
- b. To explain your travel plans to an agent
- c. To inquire about the necessary information, such as accommodations, transportation, expense, etc.
- d. To change or cancel plan

a	
b	
c	
d	

e. To make hotel reservations by phone

f. To ask about how to use skymate

a	
f	

7. Riding a bus

a. To read bus stop signs

b. To ask a bus driver for directions or transfer information

c. To ask a bus driver to tell you when you have reached your stop

d. To ask a bus driver how to pay the fare

e. To understand the announcements in the bus

a	
b	
c	
d	
e	

8. Write down the situations and the expressions that should be covered in class.

Example: At a post office

a. To ask about the difference in price between surface mail and air mail

b. To ask how to send a package

- a. _____
- b. _____
- c. _____

III. As in Section II, for each of the following, please assign a difficulty score from A to C as follows:

A) expressions you still cannot use.

B) expressions you could not use in the fall semester, but can use now.

C) expressions you had no trouble to begin with.

1. Expressions

a. To offer help

b. To invite someone to go out or shopping with you

c. To accept/decline an invitation

d. To consult about a problem

e. To request something

a	
b	
c	
d	
e	

- f. To accept/decline a request
- g. To get permission to borrow something such as an iron
- h. To make a phone call such as making an appointment
- i. To leave a message on the phone
- j. To receive a message and relay the message to the appropriate family member
- k. To ask how to use something
- l. To ask how to get to a certain place and comprehend the instructions
- n. To give directions to a taxi driver
- o. To state your opinion
- p. To complain of feeling physically poor
- q. To use honorific language at home
- r. To use honorific language outside of home
- s. To understand honorific language at home
- t. To understand honorific language outside of home
- u. To use familiar speech at home
- v. To understand familiar speech at home
- w. To have job interviewed in Japanese

f	
g	
h	
i	
j	
k	
l	
n	
o	
p	
q	
r	
s	
t	
u	
v	
w	

Then, please choose a maximum of five items each that are 1) definitely necessary and 2) not necessary at all. Use the answer column provided below.

1) definitely necessary						(Put letters.)
2) not necessary at all						

2. Topics

以下略